

柏市消費者教育推進連絡会つうしん No.30

＜柏市消費者教育推進連絡会について＞

- ◆目的◆ 柏市の学校における消費者教育の推進
- ◆委員◆ 柏市教育委員会職員，小，中，高等学校の先生（メンバー：14人）
- ◆事務局◆ 柏市消費生活センター（メンバー：6人）

令和4年度第3回柏市消費者教育推進連絡会を開催

日時：1月31日（火）15:30～16:45

場所：柏市役所沼南庁舎501会議室

内容：消費者教育の視点を持った授業の実際

消費者教育の経験豊富な先生による模擬授業を子どもの立場で受講しました。

＜小学校1年 特別の教科道徳＞ 土小学校 和田 恵吾 先生

わたしの見えかた，あなたの見えかた 絵本「アヒルだってば！ウサギでしょ！」（サンマーク出版）

＜本時の目標＞

- 絵本のイラストから，自分と他人では見え方がちがうことを理解する（道徳教育の視点）
- 身の回りの情報に対して，批判的に判断しようとする態度を育む（消費者教育の視点）

※絵本の授業での使用は出版社許可済です。

- ・絵本を読み聞かせながら，何のイラストか考えさせる。
- ・各自の意見や理由を述べあううちに，自分とは違う意見があることに気付いてゆく。
- ・絵本が進行すると，意見が変わったり『正しい答えは一つではないかもしれない』という考えも出てくる。



◆「多面的な見方」は，批判的な思考力を育むための消費者教育の素地

消費者トラブルに巻き込まれる子には「見え方が一面的，決めつける傾向」等が見られる。

◆学校には100以上の「〇〇教育」があり，消費者教育もそのうちの一つ。

特別な授業として「消費者教育を行う」のではなく，**普段の授業を「消費者教育で行う」ことがポイント。**

各授業の指導案を御覧になりたい方は，事務局（消費生活センター）まで御連絡ください

<中学校 2年 社会科 地理的分野> 富勢中学校 嶋巢 寿 先生

食の安心・安全とは

<本時の目標>

- 食の安心・安全は、自分で意識することで守ることができる可能性があることを知る。
- 生産物の先に「生産者」の存在があることを意識できるようにする。

- ・食のトラブルのひとつ「食品偽装」事例を提示し、本時のテーマを確認<『食べる』の安全を守るためにはどうしたらいいのだろうか？>
- ・各課題を少人数の班で話し合った後全体共有
 - 食品偽装はなくなると思うか
 - 食品偽装はなぜ起こってしまうか
 - どうすれば被害に遭うことを防げるか
- ・市のHPや、農産物直売所「かしわで」も紹介



- ◆生徒たちには「知っていれば防げる被害に遭ってほしくない」という思いがある。
- ◆普段から、誰でもできる、準備の要らない消費者教育を心がけている。教科書を進めながら、できる場面で5分、10分の消費者教育を重ねている。準備する教材も身近なもので！

<高等学校 1年 情報 I > 千葉県立佐倉高等学校 佐藤 一樹 先生

情報通信ネットワークとデータの活用(情報システム)

<本時の目標>

- 情報化社会の中で、世界の先端を行く先進国の状況を知ることで、日本のこれからの情報化社会を想像すると共に、その実現に向けて情報システムの種類や仕組みについて理解する。



- ◆Google スライド◆ネット上で情報共有
- ・行政サービスの99%を電子化したデジタル先進国の状況、日本との違いや国内の情報システムについて考える。
- ・日常生活の中から電子化されているものを考えさせる。(システムの仕組みについて、適宜解説を入れる)
- ・情報社会のメリット、デメリットをグループ討議し、記述して全体共有
- ・自覚を持って情報システムの取捨選択をする必要性を理解させる

- ◆「情報 I」では、旧教育課程にあったECサイト、SNSの使い方、電子決済、POSシステム等の直接的な消費者教育の内容がなくなったが、要素は残っていると考えている。
- ◆情報科の学習内容は入口であり、様々な学習や消費者教育と広くつながっている。

消費者教育には縦の系統性が大切なので、授業後の協議は異校種混合で行いました！